科目名	CAD-CIM3							年度	2025
英語科目名	CAD-CIM 3								前期
学科・学年	土木・造園科 2年次	必/選	選6	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	長谷川充、金光都	教員の実務経験		有	実務経験の職種 出木設計・コルリン、土木設計・コルジン		コンサルタント (長谷 投計 (金光)		

## 【科目の目的】

- ・国土交通省が進めるBIM/CIMの理解を深め、その普及に寄与できる人材育成を目指す。
- ・目的に合わせたBIM/CIMツールの基本的な操作方法を習得する。

## 【科目の概要】

BIM/CIMの理解を深めることは、これからの公共事業のプロセスを改善し、労働人口の減少に伴う担い手不足の課題解決や高い生産性、並び に自分自身の付加価値を高めるために必須です。また、そのツールの基本操作を学ぶ過程では、自分の手で土木構造物モデルが出来上がって いく楽しさを体験できます。

自身の技能を磨き、実施工に直結するデザイン(計画・設計)の過程を楽しみながら、将来活躍すべきシビルエンジニアへの第一歩となる3D モデル作成技能の体得を目指します。

# 【到達目標】

- A. ツールの用途や特性を理解し正しく使用できる。
- B. 要素の特徴を理解し適切にモデル配置できる。
- C. 目的を正しく理解し要求通りに課題を作成できる。
- D. 定められた時間内で課題を提出できる。

#### 【授業の注意点】

この授業は毎回の積み重ねで進めていくため、遅刻・欠席をした場合は各自その時間の授業内容を確認すること。理解できないところは質問すること。配布物を綴るファイルを各自用意すること。USBメモリを持参すること。試験課題はすべて提出するものであり、提出がない場合は単位を認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者には単位を認めない。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	川岡盆子 /	レベル3 ふつう		レベル 1 要努力		
到達目標 A	ツールの用途や特性を十 分に理解しそれぞれの用 途に合わせて使い分けて 使用できる		ツールの用途や特性を理 解し正しく使用できる		ツールの用途や特性を考 えず本来の用途以外に使 用する		
到達目標 B	要素の特徴を十分に理解 しその要素に適したモデ ルの加工又は配置ができ る		要素の特徴を理解し適切にモデル配置ができる		要素の特徴を理解せず不適切なモデル配置をしている		
到達目標 C	目的を正しく理解し要求 通りに正確に課題を作成 できる		目的を理解し要求に合わせた形で作成できる		目的を理解しておらず課題が作成できない		
到達目標 D	規定時間内に完成させ要 求以上の要素が加えられ ている		規定時間内に完成できる		規定時間内に完成出来ない		

### 【教科書】

配布プリント等

# 【参考資料】

# 【成績の評価方法・評価基準】

授業への取り組み、課題の提出・到達度等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

	科目名			CAD-C	年度		2025	
	英語表記	語表記		CAD-CI	M 3	学期	-	期
回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価
1 5 1 0	特別講義	外部講師を招いてのレ クチャー	1	講師による	講師による		2	
1	制作	各自の想いのこもった 成果物を仕上げる制作	1	infraworksの基本の理 解	各自の作成したい形状を作成できるか		2	
1 5		の時間		REVITへの理解				

評価方法:1.小テスト、3.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等